

製品名: リン酸化 AKT (Ser129) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00931**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 56 kDa; Observed MW: 65 kDa

抗原情報

遺伝子名	AKT1
別名	AKT1; PKB; RAC; RAC-alpha serine/threonine-protein kinase; Protein kinase B; PKB; Protein kinase B alpha; PKB alpha; Proto-oncogene c-Akt; RAC-PK-alpha
遺伝子 ID	207
SwissProt ID	P31749
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

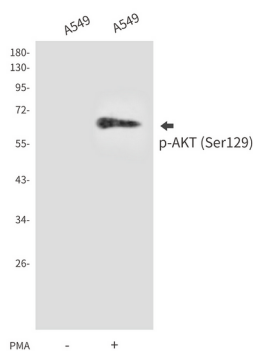
Akt (PKB または Rac と呼ばれる) は、生存とアポトーシスの制御において重要な役割を果たします。このタンパク質キナーゼは、

インスリンや様々な増殖因子・生存因子によって活性化され、PI3 キナーゼを介したワートマンニン感受性経路で機能します。Akt は、リン脂質結合と PDK1 による活性化ループの Thr308 のリン酸化、およびカルボキシ末端の Ser473 のリン酸化によって活性化されます。

研究分野

神経科学

画像データ



Phospho-AKT (Ser129) 抗体を使用した A549 溶解物中の Phospho-AKT (Ser129) のウェスタンプロット分析。